生協の現況 2019.5.1現在

組合員	32,111人
出資金	15億4,234万円
一人平均	48,031円

2019年度増加

組合員	69人
出資金	524万円

東京ほくと

一人は万人のために万人は一人のために

２０１９年
（6月号）
第478号

東京ほくと医療生活協同組合
住　所　114-0003　北区豊島3-4-15
発　行　「東京ほくと」編集委員会
☎03（3913）9100
Home Page：http://www.t-hokuto.coop/

「おいしい」をだれかと一緒に

ふれあい粋・活サロン「汐入地域食堂」

ピンクのエプロンをかけたスタッフ

夕食を提供、食べながらおしゃべりがつきません

会場は汐入防災センター

南千住駅からバスで数分、汐入防災センターに到着。ここが汐入の地域食堂の会場です。

汐入診療所の鈴木良恵看護師長は、あの3・11の東日本大震災の後、何か地域でできることはないかと考えていました。独り暮らしで高齢の男性はどうしているのか、地域から孤立して困っている人がきっといるはず、その人たちのささえになることはなにかと。

おとな食堂の立ち上げ

汐入地区は、以前は木造の家がたくさんあり、お風呂のない家も多く、銭湯に通う家族が大半でした。白髭西地区の再開発事業が行われ、高層ビルが立ち並ぶ街に様変わりし、向こう三軒両隣的な雰囲気がだんだん薄れてきたのです。女性は地域と関わることが多いですが、男性はなかなか難しいのではないでしょうか。

特に一人暮らしの高齢男性の場合、コンビニを利用することも多く栄養のバランスが偏り、節約のためにつくり置きをしても同じものばかりになって飽きてしまう、食事の回数や時間も不規則になりがちです。孤食は味気ないなどで、食欲、嚥下力の低下で栄養不良に陥って体力が落ちていき易くもなります。

鈴木看護師長

そこで、男性のための食事を提供する食堂を立ち上げたいと考えました。すぐに社会福祉協議会に相談に赴いて、２０１８年10月開所がトントン拍子に具体化したのでした。

基本メニューはカレー

メニューは、基本的にはカレー、味噌汁、おかずの内容。食材は事前にフードバンクをチェックして利用します。生ものはどうしても購入することになります。毎回24～30品目の食材が入っているとか。ベテランのボランティアさんが今使える食材でメニューを考え、腕を奮ってくれます。

ただし、会場ではガスを使えないので、診療所や他の集会室でつくり運んでこなければなりません。取材に伺った4月のメニューはカレー、みそ汁（どちらも具だくさん）小松菜と鮭の缶づめのあえものともう一品、デザートのプリンでした。会費は３００円、この日は47人の参加でした。

食後にみんなで体操

食事が終わると鈴木看護師長さんのお話、「今日の献立に使われている食材は何でしょうか」から始まり、保健指導、連絡事項、最後にちょっと医療生協の宣伝などが終わると、自由にマイクがまわり、社協の方の挨拶、認知症予防の体操と続き、この日の食事会が終わります。お話を続けたい人は残っても良いそうです。

会場の汐入防災センター

一緒に楽しさを味わう喜び

診療所で勧められて初めて来た方、友人を誘って参加した男性4人グループ、開設時から参加している方など、皆さんとてもリラックスしています。最初に足を踏み入れたときは緊張したかもしれませんが、温かくて美味しい食事を大勢の人と一緒に食べる楽しさを味わうと、きっと次回が待ち遠しくなるでしょう。

２０２２年あたりから団塊の世代が後期高齢者になり始め、このような地域食堂の需要が増えるかもしれません。災害が来たときも、食を通じて知り合った仲間がいることはさぞ心強いことでしょう。

（編集委員・石原妙子）

王子生協病院は「無料低額診療」事業を行っています
医療費でお困りの方はご相談ください ☎3912―2201

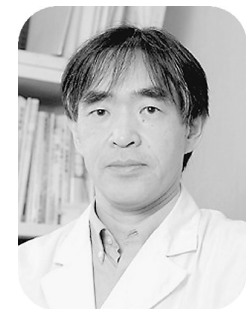
注射器

政府が認知症の人数を抑制する初の数値目標を導入する、と5月中旬、新聞報道されました。70歳代の認知症の割合を6年間で6％、10年間で約1割低下させることをめざす、という案です▼この政策案には「科学的根拠が不十分」とする専門家の懸念が示されているそうです。結局、社会保障の削減が大目標であるという政府の思惑がすけて見えるからです▼安倍政権は少子高齢化のもとで、社会保障費の増大を「国難」とし、団塊世代が75歳以上になる前に、給付を抑制する仕組みをつくらなければ、日本はたちゆかなくなると主張してきました▼そこで出てきたのが「予防」「健康管理」と「自立支援」です。言葉だけみれば、どれもいいようですが、実のところ国民は「民間保険」や「フィットネスクラブ」などヘルスケア産業を使って公的保証は縮小するということ。これで3・3兆円の効果が出ると経産省が試算を発表しました▼「運動もしないで糖尿病も無視してる人の医療費を、健康に努力しているオレが払うのかと思ったらアホらしい、と言った人がいるが、いいこと言うなと思う」と発言したのは麻生財務相▼「認知症は誰もがかかる可能性がある病気です。でも自分でできることはたくさんある。できなくなってきたことは助けてほしい」と、認知症当事者たちは訴えています。これに応えることこそ「自立支援」であり、医療・介護保障なのではないか。（小）

理事会だより　5月25日

理事長あいさつ

今泉　貴雄



患者・利用者さんの生活支える職に誇り

今年のゴールデンウィークでは天皇の退位、即位のこともあり、世間的には10連休になりました。法人ではこのかつてない連休にどのように対応すべきか?不安な気持ちで迎えましたが、何とか過ぎ去って、ホッとした感じです。

報道では、この10連休を休めた労働者は3～4割とのことです。しかし法人内では、介護職は生活を支えているわけで、休日でも訪問しましたし、医療も診療日を設けるなど対応が必要で、10連休は当然とれませんでした。休日だからといって病気が生じないわけでも、介護が必要でなくなるわけでもありませんから、医療介護の職にとり、うらやましい限りです。

それでも仕事をするのは、やはり自分の仕事が患者さん・利用者さんを支えている、との自負があるからでしょう。マスコミでは「10連休、どこに行く?」との報道が多く、一方で医療介護の職のような連休が取れない仕事について深く掘り込んでの報道は少なく、不満がありました。特に介護は担い手も少ない状況であり、しかも誰もが人生の最後の数年を要介護の状態として迎える以上、介護に光を当てるような報道があってほしいと思います。

介護職の環境整備を

介護にまつわる問題には様々なことがあげられます。今年から働き方改革で事業者には従業員が年休5日の取得ができるよう義務づけられました。介護職にとり、なかなかこの年休をしっかりとることも大変だと伺っています。少ない人手で、利用者さんの生活を支えていかなければならず、訪問している職員が休むと、そのお宅に代わりに誰かが訪問しないといけないわけで、そのような理由から休みがとりにくいそうです。

また、訪問看護を含む居宅訪問事業では職員1人が利用者さん1人に関わることで、実は様々なパワハラ、セクハラを利用者さん本人、及び家族から受けていたことがあると、明らかにされてきました。もちろん問題事例は一部の利用者さんに限りますが。

その他介護の担い手が少なくなっている理由として、介護報酬が低いこともあげられますが、当然介護報酬を上げると、利用者さんの利用料金が増え、また介護保険料の増加にもなるという問題もあります。

他にもあるかと思いますが、介護は要介護者の生活をささえていく重要な職種で、この介護の問題については学習していくことも重要と思います。

一方で法人の抱える経営的課題に関して、介護部門をどのようにとらえるか、との問題もあり、なかなかすぐには対応し解決はできないのが現状です。

高齢化に加速する令和。自分たちの迎える要介護の状態、なるべく健康寿命を伸ばし、要介護期間を短くするにしたことはありませんが、介護の職は大きな課題があるといえます。

有明のビル群を背に「許すな憲法発議」のアピール

5.3憲法集会に過去最高6万5千人が参加！

東京都江東区で開かれた「平和といのちと人権を！5.3憲法集会」には、過去最高となる6万5千人（主催者発表）が参加、東京ほくとからも55人以上が参加し、「9条改憲ＮＯ！」「安倍内閣は退陣を！」などと書かれたプラカードを掲げてアピールしました。今変えなければならないのは憲法ではなく、安倍政権だというお互いの想いを確認し合い、これからの活動の原動力を蓄え、励まし合う機会となりました。

《理事会議事録要旨》

報告事項

①４月組織活動報告・組合員加入69人、脱退78人、出資金増資524万円、増資者761人、班会開催87回、２項組合員３人。支部長交流集会を７／４に企画、事前アンケート集約中。便潜血チェックキット644個販売、陽性者15人。４－５月健診計画月間とし計画表配付。４／26健康チェック学習交流会39人参加。社保学校として６／３に「無念」映画会。ピースアクションin広島と高齢者大会参加者募集。事業所利用委員会各事業所からの報告を確認。②４月決算と2018年度決算見通し報告。③王子生協病院、診療所群、訪問看護ステーション、福祉事業部報告。④決算調査所見。⑤全日本民医連、東京民医連の理事会報告。⑥出資金現在高通知６月発送。

議決事項

①借入金最高限度額、②総代会委任状と書面議決の取り扱い、③役員の定数配分、以上議決した。

医療と介護の現場

自己決定支援

統合失調症のＡさんは良い意味でも悪い意味でもわがままな方、長年ステーションの緊急携帯に頻繁に電話をかけ（日に60回以上、月に５００回以上のことも）緊急でない日常会話も多く携帯当番の看護師を悩ませていた方でした。

血糖のコントロールが悪く糖尿病の合併症である腎不全が進行、本格的に透析導入を勧められていました。「やだよ。透析なんて絶対しないって断った」と知らん顔で、血液データは急激に悪化し貧血も進み透析導入の判断を待てない命も危険な状態に。主治医も看護師も何度も説明し意思確認をしました。

徐々に身体も辛くなり「透析するよ」と言われ導入方向で動くと「やめた」と意見が代わり、そのたびに周囲は振り回されていました。「入院は嫌だ、苦しくても自宅で最期まで過ごす」との言葉を受け、ケアマネジャーと相談し訪問診療・看護・介護、訪問入浴の調整を行った翌日、夜中に電話が鳴り「入れ歯が洗えないから来て、苦しい、入院する、何もできないもん、透析する」と言い看護師が訪問し再度意思を確認、救急車で入院となりました。

気持ちの揺れは当たり前です。キーパーソン不在、後見人を立てることも難しい、頼る家族もなく透析を導入すれば簡単に中止の判断ができる治療ではない、先を見た準備が必要であり、今後も本人の気持ちを汲み取り代弁者となる自己決定支援を行えるよう寄り添う努力をしていきたいと思います。

（十条訪問看護ステーション所長・秦陽子）

戦争反対の想いを込めて

5・15王子駅頭署名行動

沖縄の日本復帰から47年目の5月15日王子駅頭で、9条改憲ＮＯ！署名宣伝行動が行われ、12人の組合員と職員が参加しました。

沖縄の民意を無視して、菅官房長官は米国を訪問した際に、辺野古の新基地建設推進の確認をしています。こうした姿勢に、日本の主権と民主主義が問われているのではないでしょうか。

署名を取りながら「もう私たちが生きている間には戦争は起きないのでは?」との疑問に「今の安倍政権のもとではそれはわからない、自衛隊が海外へ戦争に行くことになるかもしれないですね」と対話しながら署名に応じていただいたり、ご高齢の方に「戦争を体験されていますよね」と尋ねると「そうよ、94歳になるのよ」と悲惨な戦争体験を語られるなど、戦争反対への想いも聞かれました。

おりしも、北方領土をめぐって「戦争しないとどうしようもなくないか」などと発言する議員が現れた週の宣伝でもあり、紛争の平和的解決と、憲法9条を無視した言語道断な発言をきっぱりと拒否という声も聞かれました。

また、戦争による解決という驚くべき主張が、9条改憲をめざす安倍政権を補完する役割を果たしてきた国会議員の中から出てきたというのも大変危険なことです。

同時に「軍事費をこれ以上増やすなんてとんでもない」「消費税の10％増税にも反対、とても生活出来ない」といった声も聞かれました。（組織部　森松伸治）

足を止めて署名に応じてくださいました

〈組合員の資格および脱退・減資について〉

※東京都に住所または勤務地を有する方は組合員となれます（定款第６条）。転居やお亡くなりになられた場合はご連絡ください。

※当医療生協からの脱退・減資につきましては、定款第10条（自由脱退）および第17条（出資口数の減少）によって、事業年度末の90日前（12月31日）までにご連絡をいただき、年度末（３月31日）に処理させていただくことが基本となっております。お困りの事があれがお気軽にご相談ください。

東京ほくと医療生活協同組合　本部組織部　ＴＥＬ：03―3913―9100

◎王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいておりません。

食中毒予防3原則
つけない・増やさない・やっつける

東京都福祉保健局が発表した2018年度都内での食中毒発生状況によると、原因の最多はカンピロバクター、次いでノロウイルスでした。どちらも感染力が強く、カンピロバクターは夏場、ノロウイルスは冬場と流行期はあるものの実際には1年を通して発生しているため、常に食中毒予防が必要です。食中毒予防には「菌をつけない、増やさない、やっつける」ことが大切です。食材の傷みがさらに早まるこれからの時期、特に注意が必要なものを紹介します。

①つけない

・食事をつくる時や食べる前は手を洗い、菌を洗い流しましょう。

・肉や魚を切る時に使ったまな板や包丁から菌が他へ移らないように、台所洗剤で洗い、熱湯をかけて殺菌してから次の食材を切りましょう。まな板・包丁も「肉・魚」用と「その他」用とあると良いですね。

②増やさない

・菌は高温多湿な環境が大好きです。卵や魚などを買ったら帰宅後すぐに冷蔵庫へ。菌が増えないようにしましょう。

③やっつける

・ほとんどの菌は、加熱すると死滅します。肉やハンバーグなど中心部まで十分に加熱しましょう。ノロウイルス予防では中心温度85～90℃で90秒以上の加熱が必要と言われています。

・調理で使ったまな板や包丁、ふきんなどもよく洗って、熱湯で殺菌しましょう。

ウエルシュ菌→カレー、シチューetc

自然界に幅広く生息していて、鶏、牛、豚などの食肉が汚染されるケースが多いようです。この細菌は熱に強く高温でも死滅しません。増殖が速いのも特徴です。カレーやシチューなど作る時は、室温で保存するのは危険です。すぐに食べない時は、粗熱をとり冷蔵庫で保存してください。食べる時は、十分に加熱して食べましょう。

カンピロバクター→加熱不十分な鶏肉

鶏、豚、牛、ペットなど、様々な動物の腸にいる細菌です。中でも鶏肉の5～7割にはこの菌が付いているとの報告があります。10℃以下の低温環境でも生き続けられますが、熱に弱いので焼肉や焼き鳥では、中心部までしっかり火を通しましょう。

黄色ブドウ球菌→調理する人の手指

動物の皮膚や腸管、人の皮膚や喉、鼻の中に生息しています。この菌は、食品の中で増殖するときに毒素を作り、この毒素により食中毒を起こします。菌は熱に弱いものの、毒素は100℃の加熱でもなくなりません。調理前に手洗い・消毒をしっかり行い、手指に傷ある場合は、ビニール手袋をして菌が食品に移らないようにしましょう。

◇　◇

食中毒は、人の命を奪うこともあるため、きちんと知識を持ち、日々予防していくことが大切です。

（王子生協病院管理栄養士・宮城桃子）

健康づくり委員会

熱中症の季節です！
身体と環境を整えて予防しましょう

人間の体は体内で発生した熱や外部から受けた熱を逃がすために、汗をかくなどして放熱し、身体の中心部分の温度は、冬も夏も約37℃で一定に保たれています。これからの季節、暑い環境では、放熱しにくく、水分補給が十分でない場合などには体温が上昇して、熱中症になりやすくなります。

日陰と日傘の活用を

特に高齢者は体温調節機能が衰えるため注意が必要です。環境省が行った実験で若年者と高齢者が日向と日陰で歩行運動を行ったあと、体の中心部分の温度の変化を調べた結果、日陰では両者は同程度の温度の上昇でしたが、日向で運動した高齢者は、約1℃と若年者の倍近く上昇していました。これは、高齢者の発汗量が若年者に比べて少ないことなどが影響していると考えられ、高齢者が夏の暑さの影響を受けやすいとも言えるそうです。ただし、実験の結果から、高齢者も日陰を選んで歩いたり、日傘をさしたりすることで体温の上昇を防ぐことができると考えられています。個人でできる対策の一つとして最近では男性用の日傘も増えていますが、クールビズと日傘を併用することで、人の暑熱ストレスを約20％軽減でき、これは10m間隔で街路樹をつくる効果に匹敵するそうです。

子どもは体温調節が未発達

子どもは汗腺をはじめ、体温調節機能が未発達で十分に放熱できず、厳しい暑さの中では体温が上昇しやすい特徴があります。身長が低い幼児やベビーカーに乗った赤ちゃんは、高温化した路面からの赤外放射を受けやすいため、子どもの様子に注意が必要です。

予防のポイント

①暑さに身体を慣らしていきましょう

暑い日が続くと身体がだいに暑さに慣れて、強くなります。毎日30分程度のウオーキングで汗をかく機会を増やしましょう。

②環境を整えましょう

・襟元を緩める、ゆったりした服を着るなど通気の良い服装を選びましょう。

・いろんな保冷グッズが出ています。上手に活用を。

・エアコン、扇風機など室内に熱気をためないよう工夫しましょう。

・すだれ、グリーンカーテン（ゴーヤ、朝顔など）、窓に遮光フィルムをはる。

・温度計、湿度計を設置、数値で環境を確認しましょう。

③時間を決めて、こまめに水分補給しましょう。のどが渇く前や暑いところに出る前に水分補給をするのがベストです。

④アルコールは水分補給になりません。尿量を増やすため、吸収した以上の水分が尿で失われます。

⑤3食しっかり食べて、しっかり睡眠をとること。

あらためて「健康チェック」の意義を学び―〝納得〟

健康づくり委員会・学習交流会

現在、東京ほくとの健康づくり委員（健康づくり学校修了生）は511人です。日頃、青空健康チェック・各区のイベントや地域生協の催物での健康チェックで活躍しています。

4月26日、日常活躍されている委員さんを対象に「健康づくり学校を卒業して、今さら聞けない、でも聞いてみたい」交流会を行いました。参加者は39人。当日はまず、オーラルテープとキシリトールガムを使って「お口の健康チェック」を参加者全員が実践。次に血圧、体脂肪測定のロールプレイを〝望ましい例〟と〝望ましくない例〟のグループが演じ、笑い合い学びあいました。

次に、王子生協病院健診課の酒田葉子保健師から電子血圧計の正しい使い方と8つの健康習慣についてお話いただきました。8つの健康習慣はブレスロー教授（米）が9・5年間、7千人に7項目の健康習慣を追跡・調査し作成したものに医療生協がお口の健康を加え8つとしたそうです。栄養・運動・社会参加もフレイル予防になるので現在は重視されているとのことでした。あらためて学習し、〝なるほど〟と納得。

最後に、2人の理学療法士による〝足指力測定〟の実施や、足指力を強める「足指じゃんけん」「新聞ギャザー」の指導に会場は盛り上がりました。「年代別の基礎代謝量は？」「血圧を測定し、高い人の対応の仕方は？」等など質問も出され、交流会は終了しました。（理事・上野やす代）

楽しく、真剣に学びました

足指力を強める新聞ギャザー

地域まるごと健康づくりにあなたもごいっしょに

みんなで汗かきロコモ体操

王子5丁目団地支部　すこトレ班

3月から5人でスタートしました。第4木曜日、生協北診療所の整形外科の渡会公治先生の診察後、正午からロコモ体操をやっています。待合室フロアの長椅子で20数人が集合、内科の診察後の方も多く、活気に溢れています。

この体操に王五団地から5人が参加しています。毎回参加することで班の位置づけを行い、気負わず少しの運動で「すこトレ班」としました。

渡会先生のわかりやすいご指導で、初心者の私も汗ばむ位がんばっていました。20分位ですが、呼吸法とストレッチは手足の運動と肩に手をおき腕を回し、泳ぎの運動など楽しく出きました。人は痛さを感じないと、動かないのですが、予防が大事なことを感じました。長く続けていきたいと思います。

（若林ふさ子）

気負わず少しの運動です

歌うことは身体に良いこと

王子支部　こんこん班

王子3丁目で行っているサロンは第2土曜日「東京ほくと」の「ほっとかふぇこだま」、第4土曜日は北区のおたがいさまネットワークの「ぷらっとサロン」です。

「ぷらっとサロン」では午前はおしゃべりとゲーム、午後はカラオケで高齢者の方たちが歌っています。そこに参加している方達で新班が誕生しました。

班名は落語にも出てくる「王子の狐」や大晦日に狐たちが衣装を整え装束稲荷の榎木の下に集まっている様子を描いた「浮世絵」などで王子と言えば「狐」が有名です。狐が「こんこん」と鳴くので「こんこん班」と名付けました。

メンバーは、歌が好きな70代、80代の仲間です。歌うことにより認知症やうつ病、お口のケアに良いと言われています。また昔の若いころの歌を歌っているとその時代のことが蘇るので一石二鳥です。

参加者は今のところ5～6人ですが、「班」を作ったのですから、これからは多くの方に声をかけ参加者が増えることを期待し、歌うことは身体によいと信じて活動を続けていきます。

（班長・飯田和雄）

昔の若いころの歌を歌います

趣味いかしておしゃべり会

鹿浜第2支部　さくら荘サロン

鹿浜診療所の隣、通称「別荘」と呼ばれている平屋の民家「さくら荘」として改修し、組合員の活動に活用しています。

常に組合員さんが集まれる場所として「さくら荘サロン」を開設しました。3月より第2金曜の午後に手芸をしながらおしゃべりの会として集まりました。野村菅子さんを講師に小物づくりを始めることにし、4月は6人が集い、今後の作品作りのために小さな針刺しを作りました。缶コーヒーのキャップに思い思いの針山をつくり、ビーズで飾り付けを行いました。

班登録をして健康チェックも行い、「医療生協の4課題ってなんだっけ」と学習も合わせて行うことにしました。新しく就任した平山陽子所長も顔をだしていただき、大歓迎でした。

次回は「さるぼぼ」をつくります。型紙どりの宿題をもって帰りました。

教えあいながらの手芸

医療福祉生協は「地域まるごと健康に」することをめざし、事業所がくらしのセンターの役割を果たすことが求められています。その窓口やつながりとなるのが、支部や班の集まりです。是非、多くの方の参加をお待ちしています。

※お問合せは組織部　3913－9100

映画が好きな仲間とともに

中里支部　シネマ班

私がこの班を引き継いでからまもなく10年になります。各々観たい映画を参考に連絡を取り合い、希望の多かった映画を鑑賞します。以前は、当日映画館に行き、希望の時間のチケットを買うことができたのですが、最近はインターネットで予約をする人が増えてきて、希望する時間のチケットを買うことができない日もあり、仕方なく他の映画館に行って鑑賞したこともありました。そんなわけで最近は希望時間より早めに行き、チケットを買ってから食事やお茶をして開始時間を待つようにしたりしています。

映画鑑賞の後は、各々感想を話し合っていますが、感動する場面はそれぞれ違っていてお互いに参考になります。一人では自分の感想だけで終わってしまいますが、別の見方もあるということがわかり、数人で鑑賞することはとても良いと思っています。最近、体調をくずしたり、仕事を始めたりと、班会として成立しないこともあり、今後の活動をどのようにするか考えるときかなと思っています。シネマ班以外の人たちに電話で知らせて参加できる人を募っています。

良い映画が次々とでてきています。これからもシネマ班として活動できるよう努力していきたいと思っています。

（班長・小松一枝）

映画館の前で参加者（前列４人・後ろはパネル）

病院・診療所・事業所だより　街づくり

王子生協病院

若い方から高齢者まで カッパまつりで100人チェック

5月19日、地域商店街と町会が主催するカッパまつりが豊島公園で行われました。多くの方がお祭りに参加する中、1００人の健康チェックを行いました。内容は、血圧、体脂肪に加えて血管年齢、模型を使った乳がん自己チェック体験です。血圧と体脂肪は支部の組合員さんが担当、血管年齢と乳がんチェックは職員が担当しました。「血圧を気にしたことがなかったけど、今度から気を付けます」といった声。血管年齢チェックは関心が高く、列が出来ていました。「こんなに簡単に測れて驚いた。実年齢よりも10歳若くて嬉しい」などの声が聞かれました。乳がんチェックでは、80代の女性が「昔、友達が乳がんで39歳の若さで亡くなり、それから自分は気をつけるようにしている」とお話してくださいました。

高齢者の方だけでなく、若いお母さま同士でいらっしゃったり、一度受けた方がお友達を連れて来て下さったりと、健康への関心が高い方が多いことが分かりました。

（組織部・佐々木由希）

豊島地域の5支部が参加した健康チェックコーナー

王子生協病院
医療相談室からのお知らせ

医療相談室にて、医療ソーシャルワーカーが医療・介護・社会保障など生活のお困りごとに関し、ご相談をお受けします。お気軽に医療相談室にお越しください。

日時　月～金（祝日除く）　9:30～12:00

場所　病院1階　医療相談室（受付に向かって右側です）

上記時間は医療ソーシャルワーカーが相談室に在席しておりますが、体制により不在になる場合があります。相談員不在の場合や上記時間外のご相談については、地域連携室までご連絡ください。

地域連携室直通；03-3912-2321

王子生協病院　地域連携室　医療ソーシャルワーカー

地域包括ケア病床のご紹介

入院・転院相談はお気軽にお申し出ください

王子生協病院は、2018年6月に6階病棟45床すべてを地域包括ケア病床に転換しました。あらためてその病棟の特徴を紹介します。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制を地域包括ケアシステムと言います。

急性期治療を終了し、直ぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さん・レスパイトケア（介護者の休養）や緊急入院した患者さんに、在宅復帰に向けて医療管理・診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病床です。

入院までの流れ

①入院相談受付
在宅の方はケアマネやかかりつけ医からの依頼
転院相談は病院間連携（相談員から相談員へ）
②紹介状等の書類提出
③判定会議
④ご家族面談（電話可）
⑤受入日のご連絡
⑥入院日決定

入院費

リハビリテーション・投薬料・注射料・簡単な処置料・検査料・入院基本料・画像診断料などの費用が含まれています。後期高齢者（75歳以上）の方は、月の医療費の負担上限が定められていますので、一般病床の場合と負担上限は変わりません。

入院期間

40～50日を目安とし、最長60日までで、状態・状況に合わせて退院日を調整します。短期間の入院相談も可能です。入院・退院時には家族及び関係者の付き添いが必要です。

リハビリテーション

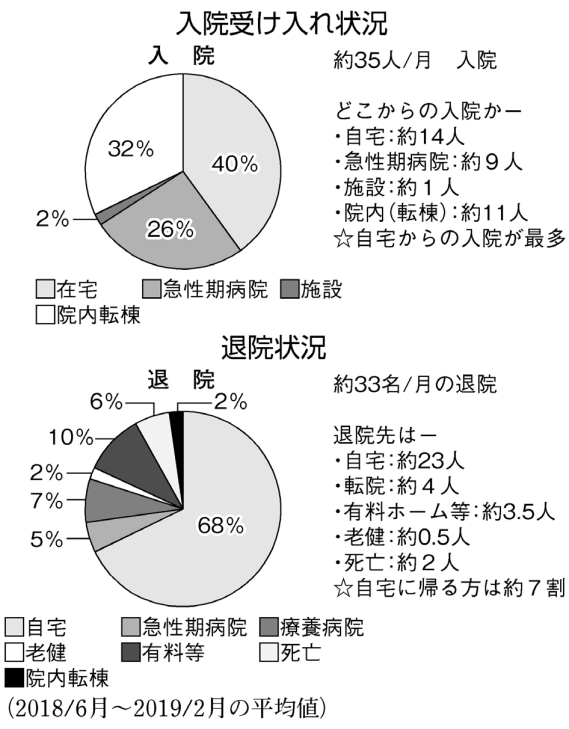
継続的にリハビリが必要な患者さんに対し、リハビリ専門スタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）によるリハビリを実施しています。日常生活に向けてのリハビリをケアワーカー中心に実施します。

リハビリ対象外の方には、リハ技師が集団リハを、病棟スタッフがトイレ介助や車椅子移乗等を行い、離床を促しています。

□　□

全国的に、病院の機能分化が進んでおり、役割が明確になっています。入院が必要になった時、緊急搬送された時、当院のベッドが満床時は他院に紹介せざるをえません。当院入院をご希望される方については、入院先と転院相談をさせていただいています。医療ソーシャルワーカー4人・退院支援看護師1人、事務1人、師長1人おりますので、いつでも相談に対応しています。（地域連携室室長・乾いつ子）

図1　王子生協病院の受け入れと退院状況



（2018/6月～2019/2月の平均値）

いのちを守れる国保に

下

保険料滞納による健康被害救済を

北区社会保障推進協議会
事務局長
組織部　森松　伸治

今月、王子生協病院相談室に、国民健康保険（以下国保）料が払えないことで相談がありました。

30代女性派遣労働者のAさん（文京区在住）は、慢性的な体の不調を訴え、都立病院にかかっているとのことでしたが、国保料の滞納で資格証（注1）を発行されています。

生活実態は家賃を払って、水光熱費、スマホ料金、切り詰めた食事代を払うと収入を使い果たします。保険料や税金を払えない状態が慢性的に続く状態で、病気が進行し、保険証がないに等しい10割負担の資格証を出された時点で、治療が中断しています。

文京区では滞納者の23%、2028人に資格証を交付しています（注2）。滞納世帯に対する資格証の発行率は都内最高です（北区では1・18%）。

Aさんによると、資格証を国保の短期証に切り替えるためには「2～3万円を現金で即時支払うこと」を、国保年金課から求められたそうですが、この2～3万円が払えないのです。そのため低収入の方が、慢性的な病気の治療が中断し、悪循環を引き起こしているのです。

こういった方は、これから増える傾向にあります。

「北区なんでも相談会」実行委員会に所属する北区労連が調査したところ、王子駅前三角公園の周囲でも、王子駅前のマクドナルド、カレーのココイチといった大企業が最低賃金以下で働かせている実態も判明しています。私たちの町で起きている低賃金労働の実態が健康被害を広げる土壌となっていることを忘れてはなりません。

容赦ない差し押さえ

北区なんでも相談会に訪れた方です。糖尿病の合併症があり、T病院を受診していた60代男性タクシー運転手のBさんは、保険料を滞納した結果、資格証となり窓口に持参するお金がなく治療を中断、病状が悪化、王子生協病院の無料低額診療で治療に至りました。

この方は、滞納を理由に退職金にあたる供託金も、行政に差し押さえられていることがわかりました。また、北区社保協の調査でも、子どものいる国保世帯への差押えが、昨年の1件から20件に増えていることも判明しています。

これが、国保の出身階層の約半数を占める低所得で苦労する非正規労働者の実態です。

前号で、お伝えした王子生協病院の国保患者層の急激な減少からみても、今、こうした〝一定の収入〟がある方への、行政の厳しい取り立てが治療を遅らせていると思われます。

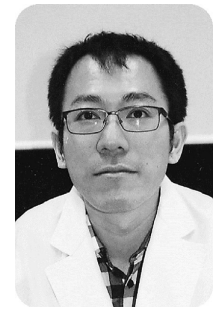
注1・資格証とは　保険料の滞納世帯に交付される。医療機関の窓口で通常の3割負担ではなく全額負担。後日、区役所に提示することで保険給付分（7割）が払い戻される。しかし、資格証の償還払いの実態は、滞納分と相殺され、事実上の10割負担となっているのが現実。

注2・文京区の数字は東京社保協の調査です。北区の数字は区民要求実現北区連絡会が自治体交渉で北区に確かめたものです。

病院・診療所・事業所だより　街づくり

汐入診療所

地域の方々の生活に寄り添う所長就任・佐藤　寿和（としかず）



これまでに静岡県で初期研修、福島県で「家庭医」としての後期研修を行い、その後は宮城県石巻市で被災者支援を兼ねて診療所・病院で勤務を行ってきました。ここ数年は主に在宅医療を中心に勤務しており、対象が意義な時間を過ごすために何ができるのか、家族や関係者をどう支援していくのか、日々悩み、考え、行動していました。研鑽を積む中で、病気を知る以上に本人や家族・地域のことを理解しないと、良い医療は提供できないということを痛感しています。病気や疾病予防に対応するだけでなく、地域の方々の幸せな生活に寄り添うことができるよう、多方面から関わらせて頂けましたら幸いです。

東京での生活には慣れていなく、地域のことを知るのがこれからの課題です。自身のこと、家族のこと、地域のこと等、いろいろとお話を聞かせて頂き、学ばせて頂けましたら嬉しいです。

赤羽東「くらしの保健室」

ほっとカフェで医療相談会

ほっとカフェの相談の様子

第3月曜日の午後に「くらしの保健室」として看護師による相談室を開設しました。

ほっとカフェをお借りして、赤羽東地域の方達のお話を聞き、困りごとがあればその都度対応したいと思っています。

第1回目の4月15日は4人の方が来られ診療所閉院後の様子や、初めて来られた方は家族の介護についての悩みを話していかれました。その時に解決できなくても次のステップへのお手伝いになればと思います。

他にも高齢の方の爪切りにも対応します。閉院するまでの数ヵ月、ほぼ全ての患者さんと話し次の医療機関への相談対応させていただきました。皆さんの役にたつ地域活動にして行きたいと思います。（生協浮間診療所看護師・井口正香（いのくちせいか））

きらっと看護

(25)

本人と相談して「決める」入浴の心地よさの味わい

王子生協病院 4階病棟看護師 江原　香澄

王子生協病院緩和病棟に入職してあっという間に4年目となりました。初めは患者さんとの関わりの中で、自分の看護は適切なのか、患者さんの想いはどうか、自分の思い込みでないか不安や力不足感を感じることも多くありましたが、その都度スタッフの方々に相談しながらここまで続けることができました。

最初、特に「緩和だな」と印象に残っている言葉の一つに「本人と相談して決めてみては」ということがあります。それまで働いてきた病院・病棟・患者さんの状態も違うということもありますが、今までは状態と必要性を確認しそれを促していくという意識がメインだったと感じます。本人の希望も確認し無理をさせるというわけではないものの、状況によりまずは最初どうするかということが自分の中にありました。大げさに言うとそれに向かって説得するような部分があったのではないかと思います。

そのため、最初は緩和病棟としてどのように考えてケアを行っているのかどこまで行っていいのか迷うことがありました。しかし、その中で「本人と相談して決めていく」という言葉を聞き、初めは戸惑ったものの、徐々に患者さんに寄り添って希望をかなえようという姿勢や気合に繋がっているのだなと思うようになっていきました。

患者さんと決めることがいろいろある中で印象に残っているのは、入浴の希望です。入浴を喜ばれる方は多く、ストレッチャーで寝たまま入れるため「こんなふうに入れるなんて」という言葉は本人だけでなくご家族からもよく聞かれます。体を動かすことが辛くなりだるさによる身の置き所なさがあるなかで、入浴が心身ともに効果があると理解しているつもりでした。しかし、入浴により辛さが改善され、笑顔が出て清潔に保たれることでご家族が安心する様子を目の当たりにすることで、どれほど大切なケアなのか実感させられました。

思い出されるのはNさんです。眠る時間が長くなり血圧も下がってきている状態でしたが、元々入院時より入浴希望がありました。入浴中も穏やかに苦痛を見せることなく良い時間を過ごせましたが、こんな状態でも対応ができるのかと驚いたことを思い出します。

本人が希望されても苦痛が強くなってしまっては辛いケアになってしまうため、痛みに対して事前にお薬を使う、本人の様子をこまめにみながら時間の短縮をする、体勢を整えるためその人それぞれの方法を考えるなども重要です。

本人の要望に対応しながら、「快の気持ち」を得られるような関りを当たり前のこととして行っていることがここの緩和病棟の素敵ですごいところの一つだなと思っています。

絵手紙『結』

田結（たゆい）　弘明

(22)

雨というと被害がでるほどの大雨、暑くなると5月から30度を越える陽ざし。

どこかが間違ってる、どこかがおかしい。

政治の世界では、間違っていておかしいのはただひとつ。1票の積み重ねで変えたい。

虹の箱

生協北診療所
事業所利用委員会

"きたカフェ"の立ち上げと年2回、診療所周辺の草取り

この間取り組んだ2つの活動を紹介します。

1つは"きたカフェ"の立ち上げです。職員と理事で、組合員のお誕生月訪問を行う中で、高齢者のご夫婦や独居の方、支部の行事や班会などにつながっていない方が多いことがわかりました。「気軽に立ち寄れる居場所・カフェを作ろう」と話し合い、委員が中心となり、場所を虹のセンターに決め、壁のペンキ塗りやテーブル・椅子・カウンターなど備品をそろえ、昨年10月にオープンしました。

現在は運営委員会をつくり月1回開店しています。職員が患者さんに積極的に声をかけてくれ、毎回初めての方が立ち寄ったり、薬や送迎の車を待つ間くつろいでいく方もいます。また、この場所を利用して鹿浜通所リハビリに通う人たちが麻雀班をつくるなど少しずつつながりが広がっています。

2つめは診療所周辺の草取りです。老健はなみずきが廃止されて2年、診療所周辺の整備は大切な活動です。年2回行っています。「雑草は強いね」「腰が痛い！」と悲鳴をあげながらの作業ですが、きれいになると疲れも飛びます。

診療所まわりの清掃

◆どこの病院・医院の処方せんでもお受けいたします◆
いつでも気軽に相談できるあなたのまちの薬局です。

あすか薬局　北区豊島3―5―6　☎3912―7478	かえで薬局　足立区江北1―26―8　☎3896―6620
しんでん薬局　足立区新田2―12―7　☎3911―2274	わかくさ薬局　足立区入谷3―1―4　☎3854―3054
ひまわり薬局　北区東十条2―6―5　☎3912―0293	あらかわ虹薬局　荒川区荒川4―54―1　☎3803―1005
ひまわり薬局浮間店　北区浮間3―22―5　☎3558―3081	堀切虹薬局　葛飾区堀切7―12―1　☎3604―9419

薬剤師募集　詳細は3944－1238東京メディエール

福祉たすけあい祭り

参加費100円

年に一度開催する「大サロン」です。暑い夏の一日、一緒に楽しみましょう。舞台出演、出店募集中。

8月26日（月）
午前11時～午後2時半
北とぴあ13階　飛鳥ホール

舞台出演、出店いただける方は下記までご相談ください。（ボランティア参加です）
東京ほくと医療生活協同組合・理事会福祉たすけあい活動委員会
連絡先：3913-9100

ひとこと通信

（敬称略）

町屋　久道和男（73）
新入職員20人の方々は私たちを励ましてくれ希望です。

志茂　神田節子（68）
孫2人の誕生会をします。みんなで集まるのを楽しみにしています。

王子本町　小山由美子（72）
生協病院退院後、自宅で頑張っている主人です。ベッドを交換して緑色で気に入っています。

舎人　北原和子（41）
8月に令和元年生まれの子が誕生します。

王子　中澤政子（75）
昨年、挿し木をした紫陽花が咲きそうです。

豊島　中西洋子（68）
36年前の「おしん」を観ています。名作は時代を超えて見ごたえがありますね。

荒川　鈴木清江（82）
朝のひととき、植木の手入れで穏やかな一日のスタートを切っています。

西尾久　植村一子
いつも楽しく拝読させていただいています。

王子　井伊幸子（69）
2人ともクラスで一番小さい双子ですが、大きなランドセルを背負い、毎日元気に登校しています。

豊五　横山きよ（71）
古河庭園の春バラを見に行きました。

町屋　為我井雅子（77）
町屋支部の総会に出席し、地域でのつながりの大切さを感じました。フレイル予防のストレッチで身体を動かしました。

新田　荒川雪江（60）
年をとってからの骨折はなかなか治らないものです。

伊興　岩田春江（68）
総会の準備から開会まで大変なことと思います。皆さんの努力に感謝です。

上十条　藤島ふさ子（85）
私も「東京ほくと」を配っています。いろいろと花を見ながら楽しみです。

西ヶ原　大榮美喜子
ありがとう。いつも声をかけてくださる娘さんに感謝。「おばさん無理は駄目よ、なにかあったら言ってね」

王子　荒井スミエ（74）
「東京ほくと」は健康に過ごすための検査・食事・運動など色々な記事が載っているので助かります。

舎人　川﨑美惠子（75）
若い頃から身体が弱く、病院通いをしています。旅行など楽しいことが一番のリハビリだと思っています。

◎転居及び氏名変更、お亡くなりになられた場合はご連絡ください。（組織部3913―9100）

季節のスナップ

浅草神社で五月の第三金・土・日曜日に行われる、三社祭。最終日には宮神輿三基の「宮出し」が行われ、写真はその一つ雷門前を通る「一之宮」です。（中澤義則）

ママに栄養と元気をとどける
クッキングやストレッチ
鹿浜診療所の子育て応援企画

鹿浜診療所では、年に数回子育て応援企画を続けています。3月14日には、6組の親子を迎えて『子育てママの3分クッキングと肩腰すっきりストレッチ』を行いました。忙しく疲れているママに栄養と元気を届ける企画です。

メニューはクラムチャウダー。不足しがちな鉄分やカルシウムを補いつつ、お鍋1つで簡単につくれます。介護スタッフで栄養士でもある須貝順子さんのサポートで缶詰や冷凍野菜も活用し、ベースの牛乳と豆乳での味比べもしました。

調理をしながらママ同士の交流にもつながっています。

後半は理学療法士の沖田夕布子さんのストレッチです。抱っこやおんぶで痛みや疲れのたまる体を、思いっきりほぐしてストレス解消もできていたようです。

いつものようにお子さんは理事と職員で保育しました。泣いていた赤ちゃんも雰囲気に慣れてくると、元気に動き始めたり、抱っこですやすや眠ったりリラックスしてきます。

後日、予防接種などで診療所を訪れる参加者と「先日は楽しかったですね」と声をかけあい、お子さんも私たちスタッフを「どこかで見たかな…？」といった表情で見つめてくれるのが嬉しい瞬間です。（鹿浜診療所事務長・本間さやか）

＊＊＊＊

次回の子育て応援企画は、
・かんたんおやつと肩腰ストレッチ
・7月4日（木）午後3時
・鹿浜診療所2階
・電話3912―8491

子どもをあやしながらクッキング

大きく手を伸ばしてストレッチ

地域公開講座
糖尿病教室

～講師・内容～
王子生協病院　外来看護師　喜種由美子
低血糖についての学習
王子生協病院　管理栄養士　宮城桃子
食事・栄養について

今回は低血糖についてのお話です。
なぜ危険なのか？
どのような症状に気を付けなければならないの？
予防には？
皆さんと一緒に学びましょう！

日時：7月6日　土曜日　**時間**：午後2時～4時
場所：王子生協病院／会議室　**参加費**：無料
問い合わせ先：王子生協病院　管理室　伊藤まで
TEL（03-3912-2201）

第371回 パズル

〈ヒント〉角出せ槍出せ目玉出せ

〈とき方〉二重ワクの5文字を並べるとある言葉になります。それが答えです。

〈応募方法〉ハガキに答え、住所、氏名、年齢を書いて〒114―0003北区豊島3―7―1東京ほくと医療生協「機関紙」編集部まで東京ほくとホームページからも応募できます。

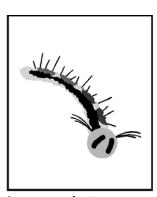
〈しめきり〉6月25日。

正解者の中から5名様に図書券を贈呈します。尚、ハガキの余白に簡単なお便りを書いて頂ければ幸いです。お名前、年齢をご紹介しますので匿名希望の方はその旨明記下さい。〈抽選対象外〉

〈前回の答え〉マンヨウ

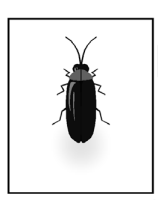
〈当選者〉（応募25）
井伊幸子、清野千代、小山由美子、鈴木清江、藤島ふさ子

この時期、手放せません



木の下は気をつけて！上から落ちてきますヨ

沖縄は5月に入り、東京はそろそろかな？



清らかな川の水で育ちます

定期的な健康診断で
生きいきとした生活を送りましょう！

王子生協病院健診課では、予約制で、健診をお受けしております。
人間ドック、生協健診、土建健診、特定健康診査、事業所健診、特殊健診、個別健診、協会けんぽなど、様々な検診を受託しています。

乳がん検診
乳がんの早期発見には、定期的な検診が有効です。
乳がん検診をぜひ受けましょう！

その他、オプション検査もあります。
お気軽にお問い合わせください！

お問い合せはこちらまで
王子生協病院健診課　03-3912-5181
（平日：9時～17時　土曜日：9時～12時）

外来診療体制のご案内

６月１日現在の体制です（詳しくは、病院・診療所にお問い合わせ下さい） 色文字＝女性医師

王子生協病院

北区豊島3-4-15　☎3912-2201
診療予約専用電話　03－3912－7248
健康診断予約専用電話　03－3912－5181

実施予防接種は、病院・各診療所にお問い合せ下さい

		月		火			水		木		金			土
		午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前
内科	予約	菅野	池森【腎・高血圧】（２:30～）	今泉 内科医 春田 藤沼 大野【心】	森岡 高島 平山 大野【心】	高島	松本 中村	森岡 神田 渡邊	田 森岡 吉田	森岡（３・４週） 高浪【呼】 村山（１・３週）	今泉 岸本 密山（1・3・5週） 笹島【循】 仁王【心】	密山（1・3・5週） 仁王【心】		今泉（1・2・3・5週） 藤沼（1・3・5週）
	一般	松本 丸山	森岡 青柴	岸本 松本 王	野島 奈良岡	今泉 田	高圓 金山	中村	近藤	西巻 櫻井	星	森岡 笹島	森岡 笹島	森岡（１・３・５週） 小池（１・３・５週） 岸本（２・４週） 笹島
家庭医診療科		漆畑		打矢			上野	佐野	佐藤		漆畑（1・2・3・5週）密山（4週）			
小児 乳児 乳健 予防接種		平山美 診察・予防接種	平山美 診察・予防接種	平山美 診察	平山美（アレルギー予約） 診察３:30～		名知 診察・予防接種	名知 診察・予防接種	平山美 診察・予防接種	平山美 診察・予防接種	平山美 診察 名知 診察・予防接種	平山美（アレルギー予約） 名知 診察・予防接種		越智 診察・予防接種
緩和外来（予約）		○						○		○	○			
もの忘れ外来（予約）			○							○				
整形外科		西野	宮本（予約）	篠田			谷口		整形医師		茂呂			整形医師
皮膚科			上田					遠山					吉田	
泌尿器科				石岡							安田			
理学療法 リハビリ		○		○			○		○		○			○
上部内視鏡		○		○			○		○		○			○（３週）
下部内視鏡					○			○				○		
栄養指導								○	○					○
健康診断		会社や個人で行う健康診断は、全て予約制となっております。※「協会けんぽ」の健診指定をとっています。**電話3912-5181**												

〔受付時間〕午前８：45～11：30／午後１：45～４：00／夜間５：15～７：30　【心】＝心療内科、【呼】＝呼吸器内科、【循】＝循環器内科

救急・急患の方は随時受け付けています。

生協北診療所

北区東十条2-8-5　☎3913-5271

		月		火		水		木	金			土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午前	午後	夜間	午前
内科	予約						新見【神】		伊藤			秋山
	一部予約 一般	大場 餌取（２・４週）	秋山	大場 秋山	大場	秋山	秋山	大場	秋山 大場	秋山	秋山	大場
専門		皮膚科医						整形外科 渡会				
胃内視鏡		餌取（1・3週）										餌取（1・3週）

〔受付時間〕午前８:30～11:30、午後１:00～４:15、夜間４:45～７:00　【神】＝神経内科
〔定期往診〕午後＝月・水・金

透析センター　3912-9334

生協王子歯科

北区豊島3-19-3　☎3927-9573

	月	火	水	木	金	土
午前	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田
午後	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田	前田 竹田（1・2週）	前田 竹田	前田 竹田
夜間			前田 竹田（1・3・4週）		前田（2週）	

夜間診療については事前にお問い合わせ下さい

〔予約時間〕午前９:00～12:00　午後１:30～４:30　夜間７:30まで　※週によって担当医が変わります。詳細は受付まで
〔往　　診〕月～金

荒川生協診療所

荒川区荒川4-54-5　☎3802-2601

	月		火			水		木		金			土
	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前
内科	田邊	菅野	泉水（内・小） 伊沢	伊沢	伊沢 泉水（内・小）	泉水（内・小） 伊沢	伊沢	伊沢	伊沢（2・4週）	田邊 伊沢	伊沢	門松（内・小） 伊沢	田邊（1・3・5週） 中原（2・4週） 古池（2・4週）
専門		水谷〔整形〕（予約）	永井〔整形〕（予約）				桑野〔糖〕（予約）			武井〔整形〕（予約）			古屋〔外科〕（1・3・5週）

〔受付時間〕午前８:30～12:15　午後１:30～４:00　夜間５:00～７:30
〔定期往診〕午後＝月・火・水・木・金

鹿浜診療所

足立区新田2-4-15　☎3912-8491

	月	火	水	木	金	土
午前	平山 太田	櫻井 林	平山 林	櫻井	太田	午前：平山（1・3週） 医師（内・小）（2週） 加藤（4週） 三浦（皮）月2回
午後	太田（予約２:00～４:00 乳健・予防接種）		平山		神田	

〔受付時間〕午前８:45～12:00、午後３:00～６:00
〔定期往診〕午前＝金、午後＝火・水・金

生協浮間診療所

北区浮間3-22-1　☎3558-8361

	月	火	水	木	金	土
午前	藤沼 山田 野島	太田 井口	藤沼 松本	藤沼 太田 佐藤	藤沼 佐藤	太田（２・４週） 佐藤（２・４週）
午後	山田 佐藤	太田 井口	佐藤		藤沼 佐野	
夜間		大西 佐野			藤沼 佐藤	

〔受付時間〕午前8:40～12:00、午後1:40～4:15、夜間5:40～7:45
〔定期往診〕午前＝月・火・水・木・金、午後＝月・火・水・金

江北生協診療所

足立区江北2-24-1　☎3857-6636

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邊 谷津〔小〕	渡邊	渡邊	渡邊 中丸〔内・小〕	渡邊	渡邊（1・3・5週） 谷津〔小〕
午後		渡邊（２:30～）			渡邊（4:00～6:00） 高橋〔内・小〕（2:30～5:00）	

〔受付時間〕午前８:40～12:15、午後２:10～６:00
〔定期訪問診療〕午後＝月・金

汐入診療所

荒川区南千住8-10-3-101　☎3807-2302

	月	火	水	木	金	土
午前	佐藤	佐藤 中島（整形）2・4週	佐藤	村山（予約） 高橋	門松（予約） 高橋（小）	佐藤（4週） 金山（2週） 名知（小）
午後	郭	高橋	中丸	高橋（1・2・4週）	門松	
夜間	佐藤（2・3週） 八巻（４週）			高橋（1・2・4週） 門松（３週）		

〔受付時間〕午前９:00～12:00、午後２:00～４:30、夜間５:30～７:30
〔定期往診〕午前＝月・木（１・３週）、午後＝月・火・水・木

北足立生協診療所

足立区入谷3-1-5　☎3896-9971

	月	火	水	木	金	土
午前	渡邊 日向	渡邊 加藤	渡邊 丸山	渡邊（予約） 孫 稲葉（予約）	中丸 杉山	渡邊（2・4週）
午後	渡邊（3:00～）		渡邊	稲葉	中丸（予約）	
夜間		渡邊			佐野	

〔受付時間〕午前８:40～12:00、午後１:40～４:15、夜間５:40～７:45
〔定期往診〕午後＝月・火・水・木・金

お知らせ

債券の新規募集は行っていません。
尚、現在ご協力いただいている債券の更新については引き続きご継続をお願いいたします。

歯ブラシ販売「特売日」

6月　8日、12日、18日、28日
7月　3日、8日、18日、24日、29日

組合員の方、組合員証の提示をお願いします。
価格は窓口にお問い合せ下さい

王子生協病院・在宅医療部	北区豊島3-4-15	☎ 3912-6181
王子訪問看護ステーション	北区豊島3-19-3	☎ 5902-7156
十条訪問看護ステーション	北区中十条2-7-13　丸栄ビル一階	☎ 5963-7720
ヘルパーステーションのぞみ	北区豊島3-7-2	☎ 5390-5998
地域ケアセンターわかば	北区豊島3-19-3	☎ 5959-7875
福祉用具サービスハピネス	北区豊島3-7-6	☎ 3911-5110
居宅介護支援事業所ハピネス	北区東十条2-8-5	☎ 5390-6024
認知症対応型共同生活介護 グループホーム ほくとひまわりの家	北区西ヶ原2-24-8ルッシェル飛鳥山1-2階	☎ 5980-6222
荒川生協診療所通所リハビリ（デイケア）	荒川区荒川4-54-5	☎ 3802-2810
あらかわ虹の里デイサービス	荒川区荒川4-54-5	☎ 3802-3541
虹の訪問看護ステーション	荒川区荒川4-54-5	☎ 3803-1179
ヘルパーステーション虹	荒川区荒川4-54-5	☎ 5850-3585
地域ケアセンターはけた	荒川区荒川4-54-5	☎ 3805-8388
都市型軽費老人ホーム ほくと西尾久虹の家	荒川区西尾久8-13-9	☎ 5855-7801
訪問看護ステーションなでしこ	荒川区西尾久8-13-9	☎ 5855-7761
デイサービスセンターなでしこ	荒川区西尾久8-13-9	☎ 5855-7447
訪問看護ステーションたんぽぽ	足立区新田3-26-1-101	☎ 5390-8451
鹿浜診療所通所リハビリ	足立区新田2-4-15	☎ 5902-7179

看護補助者募集

資格：ヘルパー、介護福祉士、無資格者（経験あり）
パート勤務希望者は相談に応じます。
ヘルパー資格の介護者も非常勤で募集しています。

電話連絡の上、履歴書をご持参下さい

看護師募集

資　格　正看護師
勤務形態　常勤（変則３交代夜勤）
休　暇　４週８休、年始年末休暇、夏季休暇、有給休暇あり

王子生協病院　電話 03-3912-2201（看護師長室／佐藤、乾、平井）